

**新しいまちづくりを
皆様と共に！**

くしなやかに、力強く地域の発展に挑戦します！

令和七年乙巳（き）のとみ の年
新年おめでとうございます。
昨年もお色々なことがありました、
昨年を振り返り特に以下の4つが
印象的でした。

- 元旦に発生した能登半島地震を
始めとする自然災害
- 十六年振りに新しく
木村知事が選ばれた県知事選挙
- 与党が過半数割れとなった
衆議院議員選挙
- ※但し熊本県は自民党が全勝

○日本の酒造りがユネスコ無形文化
遺産に登録されたことで我が地域
が誇る琉球焼酎に注目が集まる

さて、今年は戦後八十年、自由
民主党政権から七十年、またアメ
リカでは一月にトランプ大統領誕
生、四月に大阪・関西万博開催、
七月には参議院議員選挙、韓国の
大統領選挙の可能性等、国内外で
色々なことがあります。

熊本県では木村知事が就任し、策
定した県の最上位計画「くまもと新
時代共創基本方針」に沿った県政運
営が本格的にスタートします。

人吉球磨では豪雨災害から五年
を迎え、人吉市では人吉復興まち
づくりアクションプランを官民連
携で策定しながら本格的なまちづ
くりが動き出します。

今年の乙巳の年は「再生や変化
を繰り返しながら柔軟に発展して



11月27日/SL人吉祭典実行



▼編集後記

「ひとよしくま中(小)学校」では、経営者や学者が講師を務め、世代を超えた受講生が集い、学びを楽しんでいます。その姿に惹かれ、市内外から新たなつながりを求めて人々が集まっています。「近き者説（よるこ）び、遠き者来る」とは孔子の言葉で、地元の人々が楽しむことで、その活気が外部に伝わり、人々を引き寄せるという意味で使われています。人吉市では復興まちづくりのワークショップが活動。未来にワクワクしながら、市民の手で地域の新たな魅力を創り出していきたいと思います。<K.T>

この会館のお問合せは
溝口幸治事務所
〒868-0004 人吉市日町83-2F
tel 0966-22-5800
fax 0966-22-5802
http://www.k-mizoguchi.com
E-mail:office@k-mizoguchi.com

発行 溝口幸治事務所
記載責任者 富山幸治

X (@twitter)

みぞぐち幸治後援会 所在地
ACCESS MAP

人吉市九日町83
2階
新事務所

川辺川の新たな流水型ダム構造

- 流水型ダムは、普段は水を貯めませんが、大雨が降り一定規模の洪水になるとダムに水を貯めて下流に流れる量を調整し、洪水被害を防ぎます。
- その後、下流の安全を確認したのち、ダムに貯めていた水を流し、普段の川の状態に戻します。

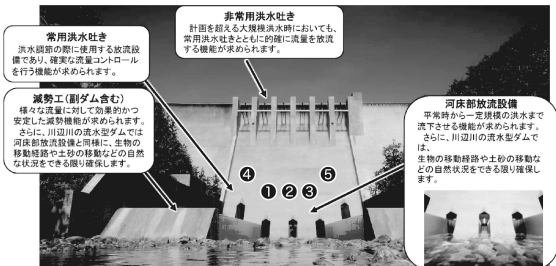
詳しい内容は！



仮想空間技術を活用した
流水型ダムイメージ動画
(国土交通省作成)

魚類(アユ)や土砂が移動する経路を確保できるよう
【晴/雨】時と【豪雨】時の流れが分けられています。

【晴/雨】①②③から放流 【豪雨】④⑤から量を調整しながら放流



川辺川の流水型ダムのイメージ(ダム下流水面付近から望む) ※本イメージは、現時点の設計案に基づき作成しており、今後変更の可能性がありま

※以下の動画は、誰でも分かりやすく理解できるよう「緑の流域治水」の取組みがまとめられています。是非、ご覧ください。

動画 (YouTubeで配信)

You Tube掲載動画のQRコード

全体
統合版



[6分57秒]

①緑川
の地形
の特徴



[2分2秒]

②洪水発生
のメカニズム



[2分27秒]

③緑の流域治水
の取組み



[2分28秒]

地形の特徴

洪水発生メカニズム

令和2年7月豪雨からの

新時代共創復興プラン

詳しい内容は！



令和2年7月豪雨
復旧・復興本部会議(第15回)
(熊本県ホームページ)

- 県は、12月19日に、第15回令和2年7月豪雨復旧・復興本部会議を開催し、「令和2年7月豪雨からの新時代共創復興プラン」を発表しました。
- プランには「緑の流域治水」の更なる推進による1日も早い安全・安心の実現」と「若者が“残り・集う”産業・雇用の創出」が二本柱として掲げられています。
- 地域の再生・発展のためには、「安全・安心の実現」を大前提としつつ、並行して「産業・雇用の創出」にも積極的に取り組んでいく必要があります。
- 「観光を軸とした創造的復興の実現」、「地域の特色を活かした産業活性化と雇用の創出」に掲げる「産業振興」に向けた取組と、「若者が定着・還流する環境の創造」に掲げる「人づくり」に向けた取組を重点的に推進していくことで、人づくりと産業振興による「人口定着」の好循環を創していきます。
- 球磨川流域における取組が、地域再生のモデルとなるよう、今後も地域の皆様の声をお聴きしながら、地域とともに進めていきます。

